

## 2. 介護労働者に係るヒアリング

### (1) 求職者に対するヒアリング結果

前職で介護関係職種に就いていた有効求職者を対象に各福祉重点公共職業安定所において  
5～20人ずつ計509人にヒアリングを実施(平成20年6月6日～平成20年6月30日)

#### I 基本情報

##### (1) 性別

	実数	割合
合計	509	100.0%
男	91	17.9%
女	418	82.1%

##### (2) 年齢

	実数	割合
合計	509	100.0%
19歳以下	3	0.6%
20歳代	142	27.9%
30歳代	140	27.5%
40歳代	101	19.8%
50歳代	98	19.3%
60歳以上	25	4.9%

##### (4) 福祉系大学等の卒業有無

	実数	割合
合計	509	100.0%
卒業している	169	33.2%
卒業していない	340	66.8%

##### (6) どのような点にギャップを感じたか(複数回答可)

##### (5) でギャップを感じたと回答した人のみ

	実数	割合
回答者数計	116	100.0%
仕事内容に応じた賃金である	1	0.9%
将来的な賃金の上昇が期待できる	1	0.9%
精神的・体力的にきつくはない	0	0.0%
労働時間が長くはない	5	4.3%
キャリアアップがしやすい	8	6.9%
夜勤が少ない	3	2.6%
休日等がとりやすい	8	6.9%
病気・ケガ等のリスクは大きくない	1	0.9%
やりがいのある仕事である	71	61.2%
社会的評価が高い	12	10.3%

よい実感

	実数	割合
仕事の中身が違った	21	18.1%
仕事内容の割に賃金が低い	85	73.3%
将来的な賃金の上昇が期待できない	63	54.3%
精神的・体力的にきつい	88	75.9%
労働時間が長い	42	36.2%
キャリアアップがしにくい	14	12.1%
夜勤が多い	19	16.4%
休日等がとりにくい	48	41.4%
病気・ケガ等のリスクが大きい	32	27.6%
やりがいのない仕事である	3	2.6%
社会的評価が低い	24	20.7%

よくない実感

##### (3) 取得資格(複数回答可)

	実数	割合
合計	502	100.0%
ホームヘルパー1級	57	11.4%
ホームヘルパー2級	272	54.2%
ホームヘルパー3級	12	2.4%
介護福祉士	211	42.0%
社会福祉士	25	5.0%
介護支援専門員 (ケアマネジャー)	64	12.7%
作業療法士	4	0.8%
理学療法士	2	0.4%
その他	105	20.9%

##### (5) 在学中のイメージと実際に働いた結果のギャップの有無

##### (4) で卒業したと回答した人のみ

	実数	割合
合計	169	100.0%
ギャップを感じた	116	68.6%
ギャップは感じなかった	51	30.2%
不明	2	1.2%

#### II. 求職者が直前に勤めていた事業所について

##### 問1 直前に勤めていた事業所の法人格(経営主体)

	実数	割合
合計	509	100.0%
民間企業(個人・株式会社等)	152	29.9%
社会福祉協議会	19	3.7%
社会福祉協議会以外の社会福祉法人	150	29.5%
医療法人	122	24.0%
NPO(特定非営利活動法人)	10	2.0%
社団法人・財団法人	32	6.3%
協同組合(農協・生協)	8	1.6%
地方自治体(市区町村)	4	0.8%
その他	6	1.2%
わからない	6	1.2%

##### 問2 直前に勤めていた事業所で主に従事していた介護サービスの種類

	実数	割合
合計	509	100.0%
訪問介護・訪問入浴介護	74	14.5%
訪問介護	13	2.6%
居宅介護支援	35	6.9%
福祉用具貸与・特定福祉用具販売	1	0.2%
通所介護	83	16.3%
通所リハビリテーション	16	3.1%
短期入所生活介護	6	1.2%
認知症対応型共同生活介護	43	8.4%
介護老人福祉施設	102	20.0%
介護老人保健施設	57	11.2%
介護療養型医療施設	37	7.3%
その他	42	8.3%

問3 直前に勤めていた事業所で主に従事していた職種

	実数	割合
合計	509	100.0%
訪問介護員	60	11.8%
サービス提供責任者	20	3.9%
訪問看護員	3	0.6%
介護職員	329	64.6%
生活相談員	25	4.9%
介護支援専門員（ケアマネジャー）	37	7.3%
理学療法士	2	0.4%
作業療法士	4	0.8%
機能訓練指導員	1	0.2%
その他	28	5.5%

問4 直前に勤めていた事業所での勤続年数

	実数	合計月数
平均 3年9ヶ月	507	23051

問6 直前に勤めていた事業所での就業形態

	実数	割合
合計	508	100.0%
正社員	332	65.4%
非正社員	170	33.5%
契約社員	63	12.4%
パート	91	17.9%
登録ヘルパー	13	2.6%
派遣社員	3	0.6%
その他	6	1.2%

問9 直前に勤めていた事業所を離職した理由  
(複数回答可)

	実数	割合
合計	509	100.0%
介護自体の仕事が合わない	14	2.8%
仕事内容の割に賃金が低い	165	32.4%
適切な昇給制度がなく、将来的な見通しがたたない	101	19.8%
キャリアアップがしにくい	57	11.2%
労働時間が長い	97	19.1%
夜勤が多い	54	10.6%
休日を取得しにくい	108	21.2%
研修・指導が不十分である	79	15.5%
精神的・体力的にきつい	185	36.3%
病気・ケガ等の不安が大きい	62	12.2%
資格・能力が評価されなかった	67	13.2%
経営理念、運営方法が合わなかった	93	18.3%
職場の人間関係が合わなかった	100	19.6%
利用者との人間関係が合わなかった	11	2.2%
自分・家庭の事情（結婚・転勤等）	114	22.4%
その他	134	26.3%

問12 再就職先において希望する賃金（税込月収、時間単価）

問10で「介護分野に就職したい」と回答した人のみ（n=264）

<介護関連職種>

	実数
平均月収 179,284円以上	229
平均時給 1,076円以上	128

問3 直前に勤めていた事業所で従事していた職種  
あてはまるもの全て（複数回答可）

	実数	割合
合計	509	100.0%
訪問介護員	69	13.6%
サービス提供責任者	28	5.5%
訪問看護員	4	0.8%
介護職員	345	67.8%
生活相談員	46	9.0%
介護支援専門員（ケアマネジャー）	47	9.2%
理学療法士	2	0.4%
作業療法士	4	0.8%
機能訓練指導員	3	0.6%
その他	33	6.5%

問5 直前に勤めていた事業所は介護関係の職場では  
何力所目か

	実数	割合
合計	506	100.0%
初めて	257	50.8%
2～4力所目	232	45.8%
5力所目以上	17	3.4%

問7 直前に勤めていた事業所で自宅から職場までの  
平均通勤時間（往復）

	実数	合計分数
平均 およそ41分	507	20998

問8 直前に勤めていた事業所を離職したときの  
通常月の税込月収

	実数	合計金額
税込で 平均174,972円	509	89,060,500

Ⅲ. 現在の求職活動と今後の意向について

問10 現在の希望

	実数	割合
合計	509	100.0%
介護分野に就職したい	264	51.9%
他分野に就職したい	120	23.6%
条件次第では介護分野に就職したい	125	24.6%

問11 再就職先で希望する就業形態

	実数	割合
合計	504	100.0%
正社員	343	68.1%
契約社員	6	1.2%
パート	139	27.6%
登録ヘルパー	7	1.4%
派遣社員	3	0.6%
その他	6	1.2%

問10で「他分野に就職したい」と回答した人のみ（n=120）

<その他の職種>

	実数
平均月収 174,939円以上	83
平均時給 933円以上	54

問10で「条件次第では介護分野に就職したい」と回答した人のみ（n=125）  
 <介護関連職種>

	実数
平均月収 180,000円以上	104
平均時給 979円以上	68

問13 賃金の時間単価と月間収入では、どちらをどの程度重視するか

	実数	割合
合計	506	100.0%
月間単価が高ければ、時間単価はそれほど重視しない	301	59.5%
時間単価が高いほどよい	152	30.0%
その他	50	9.9%

問15 再就職先を選ぶときに重視する点（複数回答可）  
 問10で「介護分野に就職したい」と回答した人のみ（n=264）

	実数	割合
合計	263	100.0%
賃金	171	65.0%
労働時間	136	51.7%
休暇・休業制度	118	44.9%
夜勤体制	64	24.3%
資格に対する評価や手当	73	27.8%
教育・研修の充実度	72	27.4%
職場の人間関係	113	43.0%
経営理念	70	26.6%
その他	23	8.7%

問17 介護分野を希望しない理由（複数回答可）  
 問10で「他分野に就職したい」と回答した人のみ（n=120）

	実数	割合
合計	118	100.0%
介護自体の仕事が合わない	15	12.7%
自分・家庭の事情（結婚・転勤等）	12	10.2%
その他	7	5.9%
介護業界全般の認識として、		
仕事内容の割に賃金が低い	75	63.6%
見通しがたたない	37	31.4%
キャリアアップがしにくい	15	12.7%
労働時間が長い	46	39.0%
夜勤が多い	25	21.2%
休日を取得しにくい	47	39.8%
研修・指導が不十分である	14	11.9%
精神的・体力的にきつい	76	64.4%
病気・ケガ等の不安が大きい	22	18.6%

問18 介護分野に復帰する条件（複数回答可）  
 問10で「条件次第では介護分野に就職したい」と回答した人のみ（n=125）

	実数	割合
合計	121	100.0%
賃金アップ	80	66.1%
通勤時間の短縮	20	16.5%
適切な休暇・休業制度	71	58.7%
適切な夜勤体制	43	35.5%

問10で「条件次第では介護分野に就職したい」と回答した人のみ（n=125）  
 <その他の職種>

	実数
平均月収 173,419円以上	93
平均時給 943円以上	59

問14 介護関係の具体的な希望職種（複数回答可）  
 問10で「介護分野に就職したい」と回答した人のみ（n=264）

	実数	割合
合計	264	100.0%
訪問介護員	31	11.7%
サービス提供責任者	14	5.3%
訪問看護師	5	1.9%
介護職員	181	68.6%
生活相談員	33	12.5%
介護支援専門員（ケアマネジャー）	46	17.4%
理学療法士	2	0.8%
作業療法士	3	1.1%
機能訓練指導員	5	1.9%
その他	20	7.6%

問16 ハローワークに提供してほしいサービス（複数回答可）  
 問10で「介護分野に就職したい」と回答した人のみ（n=264）

	実数	割合
合計	263	100.0%
詳しい事業所情報の情報提供	166	63.1%
事業所の説明会、面接会の開催	97	36.9%
事業所の見学会	107	40.7%
介護分野での就業に関する	49	18.6%
個別求人開拓	32	12.2%
その他	17	6.5%

	実数	割合
直前に勤めていた事業所が、		
仕事内容の割に賃金が低い	56	47.5%
将来的な見通しがたたない	34	28.8%
キャリアアップがしにくい	17	14.4%
労働時間が長い	37	31.4%
夜勤が多い	18	15.3%
休日を取得しにくい	44	37.3%
研修・指導が不十分である	24	20.3%
精神的・体力的にきつい	61	51.7%
病気・ケガ等の不安がある	21	17.8%
資格・能力が評価されなかった	16	13.6%
経営理念、運営方法が合わなかった	25	21.2%
職場の人間関係が希薄だった	21	17.8%
利用者との人間関係が合わなかった	9	7.6%

	実数	割合
資格に対する評価や手当	52	43.0%
教育・研修の充実	38	31.4%
職場の人間関係が良好である	72	59.5%
経営理念を共感できる	47	38.8%
その他	10	8.3%

## (2) 進路指導教諭に対するヒアリング結果

普通高等学校の進路指導教諭を対象に各福祉重点公共職業安定所において3人ずつ計142人にヒアリングを実施  
(平成20年6月6日～平成20年6月30日)

### I 生徒の進路状況について

#### (1) 福祉系大学・専門学校、大学の福祉系学部等への進学者数

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
男	合計	503人	472人	401人
	平均	3.87人	3.50人	2.95人
	回答数	130校	135校	136校
女	合計	1054人	1029人	937人
	平均	7.92人	7.46人	6.69人
	回答数	133校	138校	140校
計	合計	1612人	1539人	1376人
	平均	11.94人	10.99人	9.69人
	回答数	135校	140校	142校

※ 不明があったため、男女の和が合計数と一致しない。

#### (2) 介護事業所への就職人数

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
男	合計	68人	82人	90人
	平均	0.51人	0.60人	0.66人
	回答数	133校	136校	137校
女	合計	480人	524人	517人
	平均	3.56人	3.82人	3.75人
	回答数	135校	137校	138校
計	合計	548人	602人	607人
	平均	4.06人	4.39人	4.40人
	回答数	135校	137校	138校

※ 不明があったため、男女の和が合計数と一致しない。

#### (3) 卒業者数

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
男	合計	15403人	15719人	14821人
	平均	113.26人	113.09人	105.86人
	回答数	136校	139校	140校
女	合計	22022人	21500人	20950人
	平均	165.58人	152.48人	147.54人
	回答数	133校	141校	142校
計	合計	37324人	37219人	35771人
	平均	270.46人	263.96人	251.91人
	回答数	138校	141校	142校

※ 不明があったため、男女の和が合計数と一致しない。

(参考) 福祉系大学・専門学校、大学の福祉系学部等への進学割合

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
男	合計	3.27%	3.00%	2.71%
女	合計	4.79%	4.79%	4.47%
計	合計	4.32%	4.13%	3.85%

(参考) 介護事業所への就職割合

		平成17年度	平成18年度	平成19年度
男	合計	0.44%	0.52%	0.61%
女	合計	2.18%	2.44%	2.47%
計	合計	1.47%	1.62%	1.70%

## II 介護の仕事について

問1 他の業界と比較して、介護業界の仕事や賃金などの労働条件について、どのように捉えているか。

(複数回答可)

(他の業界と比べて、より)

		実数	割合
合計		142	100.0%
よいイメージ	介護のニーズは増大していくので将来性のある仕事である	79	55.6%
	地域に密着しているため、希望地域で働ける	47	33.1%
	資格を活かせる	37	26.1%
	社会福祉に貢献でき、やりがいがある	96	67.6%
	賃金が低い	121	85.2%
よくないイメージ	精神的・体力的にきつい仕事である	129	90.8%
	安全・衛生面が心配である	8	5.6%
	世間のイメージがよくない	7	4.9%
	その他	4	2.8%

問3 介護業界への就職を希望する生徒は、介護業界について、どのような印象を持っていると思うか。

(複数回答可)

		実数	割合
合計		141	100.0%
よいイメージ	介護のニーズは増大していくので将来性のある仕事である	70	49.6%
	地域に密着しているため、希望地域で働ける	31	22.0%
	資格を活かせる	62	44.0%
	社会福祉に貢献でき、やりがいがある	108	76.6%
よくないイメージ	賃金が低い	78	55.3%
	精神的・体力的にきつい仕事である	105	74.5%
	安全・衛生面が心配である	8	5.7%
	世間のイメージがよくない	6	4.3%
	その他	3	2.1%

問2 介護福祉士などの介護関係職種について、看護師などの医療関係職種と比較したときに、仕事や賃金等の労働条件についてどのような印象をもっているか。

(複数回答可)

(医療関係職種と比べて、より)

		実数	割合
合計		141	100.0%
よいイメージ	精神的・体力的にましである	3	2.1%
	夜勤が少ない	17	12.1%
	休日等が取りやすい	1	0.7%
	資格取得が容易	57	40.4%
	やりがいのある仕事である	42	29.8%
	男性でも仕事に就きやすい	51	36.2%
よくないイメージ	賃金が低い	131	92.9%
	精神的・体力的にきつい	91	64.5%
	夜勤が多い	22	15.6%
	休日等が取りにくい	32	22.7%
	やりがいのない仕事である	1	0.7%
	その他	8	5.7%

問4 生徒の介護専門学校への進学や介護業界への就職について、どのように考えているか。(介護分野に進む人材が減っていることを踏まえて)

(複数回答可)

		実数	割合
合計		142	100.0%
希望する生徒には積極的にサポートする		90	63.4%
希望しない生徒、迷っている生徒にも積極的に勧める		6	4.2%
希望する生徒には介護業界の現状を説明し、消極的に対応する		9	6.3%
希望しない生徒、迷っている生徒にあえて勧めることはしない		47	33.1%
適正を見て勧めることもあるが、介護業界の現状を十分説明する		91	64.1%
その他		7	4.9%

問5 介護分野への進学や就職を希望する生徒が、より一層増加するためには、どのようなことが必要だと思うか。  
(複数回答可)

	実数	割合
合計	142	100.0%
初任給アップ	88	62.0%
適切な昇給制度	109	76.8%
適切な休暇・休業制度	79	55.6%
適切な夜勤体制	62	43.7%
通勤時間の短縮	8	5.6%
資格に対する評価や手当	103	72.5%
教育・研修の充実	32	22.5%
情報公開	22	15.5%
介護業界全体のイメージアップ	73	51.4%
その他	8	5.6%

問6 進路指導に携わるときに、介護業界に望むことはあるか。  
(複数回答可)

	実数	割合
合計	140	100.0%
モデルとなる賃金体系を示してほしい	97	69.3%
教育訓練等のキャリア形成支援に関する情報を積極的に公開してほしい	55	39.3%
介護業界のイメージを明るくするようなキャンペーンを行ってほしい	39	27.9%
学生インターンシップやボランティアを積極的に受け入れてほしい	25	17.9%
実際に働いている人の声をメディア等を通じて積極的にPRしてほしい	71	50.7%
その他	11	7.9%

# 付属資料

## 1. 介護労働の現状について

資料1 介護労働の現状について

## 2. 職種別賃金カーブ

- 資料2-1 産業・職種別賃金カーブ（男、企業規模計）
- 資料2-2 産業・職種別賃金カーブ（女、企業規模計）
- 資料2-3 産業・職種別賃金カーブ（男、企業規模10～99人）
- 資料2-4 産業・職種別賃金カーブ（女、企業規模10～99人）
- 資料2-5 職種別年齢階級別賃金カーブ（男）
- 資料2-6 職種別年齢階級別賃金カーブ（女）
- 資料2-7 職種別経験年数別賃金カーブ（男）
- 資料2-8 職種別経験年数別賃金カーブ（女）
- 資料2-9 看護職（女）年齢階級別賃金カーブ（平成元年、平成19年）
- 資料2-10 看護職（女）経験年数別賃金カーブ（平成元年、平成19年）
- 資料2-11 標準的労働者職種別賃金カーブ（男）
- 資料2-12 標準的労働者職種別賃金カーブ（女）
- 資料2-13 医療、福祉、介護職経験年数別賃金カーブ

## 3. 賃金と有効求人倍率、離職率、過不足感の関係

- 資料3-1 都道府県別全産業平均賃金と有効求人倍率の関係
- 資料3-2 都道府県別全産業平均賃金と介護職員離職率の関係
- 資料3-3 都道府県別全産業平均賃金と訪問介護員離職率の関係
- 資料3-4 都道府県別全産業平均賃金と介護職員過不足感の関係
- 資料3-5 都道府県別全産業平均賃金と訪問介護員過不足感の関係
- 資料3-6 都道府県別介護職平均賃金と有効求人倍率の関係
- 資料3-7 都道府県別介護職平均賃金と介護職員離職率の関係
- 資料3-8 都道府県別介護職平均賃金と訪問介護員離職率の関係
- 資料3-9 都道府県別介護職平均賃金と介護職員過不足感の関係
- 資料3-10 都道府県別介護職平均賃金と訪問介護員過不足感の関係

- 資料 3-11 都道府県別介護職／全産業平均賃金比と有効求人倍率の関係
- 資料 3-12 都道府県別介護職／全産業平均賃金比と介護職員離職率の関係
- 資料 3-13 都道府県別介護職／全産業平均賃金比と訪問介護員離職率の関係
- 資料 3-14 都道府県別介護職／全産業平均賃金比と介護職員過不足感の関係
- 資料 3-15 都道府県別介護職／全産業平均賃金比と訪問介護員過不足感の関係

#### 4. 事業所規模別収支差率

- 資料 4-1 介護老人福祉施設 定員規模別収支差率
- 資料 4-2 介護老人保健施設 定員規模別収支差率
- 資料 4-3 認知症対応型共同生活介護 定員規模別収支差率
- 資料 4-4 訪問介護 延べ訪問回数別収支差率
- 資料 4-5 通所介護 延べ利用回数別収支差率
- 資料 4-6 居宅介護支援 実利用者数別収支差率